

<p><b>【技術の名称】</b>                  浅沼式ひび割れ誘発目地付き耐力壁構法 (改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第09-04号改                  性能証明発効日：2011年5月24日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社浅沼組</p>
--	---

**【技術の概要】**

本技術は、鉄筋コンクリート耐力壁の収縮ひび割れ発生本数を制御するためのひび割れ誘発目地を配置しながらも、目地を設けない耐力壁と同等の終局耐力を有する耐力壁を構築する構法である。本構法の特徴は、壁板表面側の増打ちコンクリート部に設けた欠き込み目地、ひび割れ誘発材および壁縦筋を一直線上に配置することで、ひび割れ誘発目地として機能させている点、ならびにコンクリートとの付着性状が良好な表面処理を施さない異形棒鋼をひび割れ誘発材に用いる点である。

本技術は、2009年5月12日に、(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第09-04号として性能証明がなされたものであり、今回の改定では、設計者、監理者および施工者の範囲が変更されている。

**【技術開発の趣旨】**

ひび割れ誘発目地付きの鉄筋コンクリート耐力壁については、目地欠損部の増加に伴い、剛性、耐力の減少が懸念されることより、本構法は、目地効果を確保する一方で、目地を設けない耐力壁と同等の剛性および終局耐力を確保することを意図して開発されている。

**【性能証明の内容】**

申込者提案構法によるひび割れ誘発目地付き鉄筋コンクリート耐力壁は、目地を設けない耐力壁と同様、短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、設計要領書で示している終局耐力を有すると判断される。



写真-1 ひび割れ誘発材設置状況

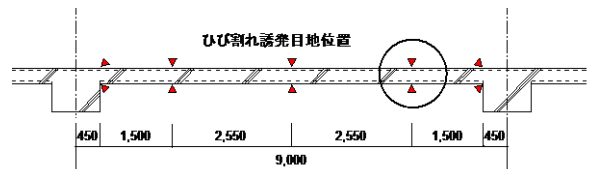


図-1 ひび割れ誘発目地の配置

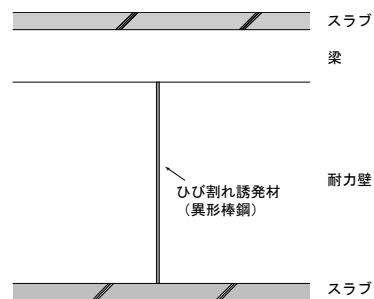


図-2 ひび割れ誘発目地の設置

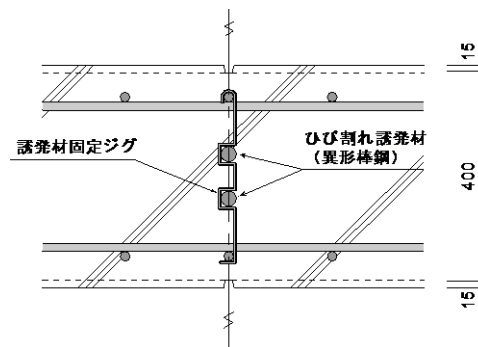


図-3 ひび割れ誘発目地の詳細

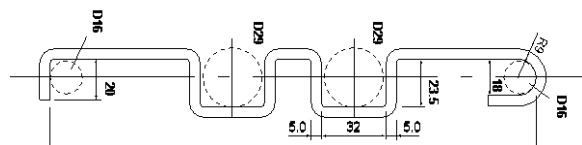


図-4 ひび割れ誘発材固定ジグ

**【本技術の問合せ先】**

株式会社浅沼組 担当者：森 浩二  
 〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3-24-1

E-mail：mori-kouji@asanuma.co.jp  
 TEL：072-661-1620 FAX：072-661-1730